

平成24年度 第1回岩見沢市中心市街地活性化協議会報告

◆日時 平成24年4月23日(月)13:30～14:30

◆場所 岩見沢商工会議所 第1会議室

◆出席者 協議会会員 出席 16会員 欠席 4会員
出席者数 38名

◆協議事項

- (1) 岩見沢市中心市街地活性化事業審査方法
- (2) 平成23年度岩見沢市中心市街地活性化個別事業実績
- (3) 平成24年度岩見沢市中心市街地活性化個別事業申請
- (4) 中活協議会平成23年度運営費決算(案)
- (5) 中活協議会平成24年度運営費予算(案)

◆報告事項

- (1) 岩見沢市中心市街地活性化補助金要綱変更
- (2) 外部専門家委員会設立準備会 会議報告

◆議事概要

○平成24年度第1回岩見沢市中心市街地活性化事業審査スケジュール

- | | |
|------------------|---------------|
| 4月23日(月) | 協議会でプレゼンテーション |
| 4月24日(火)～5月2日(水) | 質問事項の受付 |
| 5月11日(金)まで | 質問事項への回答 |
| 5月16日(水) | 審査得点票の回収締切日 |
| 5月21日(月) | 審査結果を岩見沢市へ提出 |
| 5月31日(木) | 岩見沢市で補助決定 |

○審査得点票の変更

- ・1年間を通じた数値目標達成に寄与するかどうかに対し50点の配点から25点の配点へ変更
- ・「中心市街地ににぎわいを創出している」を審査項目に新規に加え25点の配点

○平成23年度岩見沢市中心市街地活性化個別事業実績

C-10 4条通り活性化事業 4条通り商店街振興組合
総事業費5,304,133円、補助金2,370,000円

C-20 中心市街地コンバージョン事業 マチ住まい倶楽部
総事業費21,007,098円、補助金10,984,000円
*平成24年度からは、岩見沢市が直轄して継続実施

C-22 岩見沢赤れんが夏祭り 岩見沢赤れんが夏祭り実行委員会
総事業費8,887,581円 補助金2,000,000円

C-25 2011ディスコ祭り 岩見沢商工会議所青年部

総事業費 3,827,230 円 補助金 40 万円

C-27 ホテル新築工事 ランドシステム(株)
総事業費 302,972,990 円 補助金 1,064 万円

C-28 まちなか居住推進プロジェクト 南原孝之
総事業費 65,387,500 円、補助金 2,730,500 円

○平成24年度岩見沢市中心市街地活性化個別事業

C-10 4条通り活性化事業 4条通り商店街振興組合
総事業費 5,760,000 円、補助金 2,725,000 円

C-24 ハッピーレインボープロジェクト 松川 敦子
総事業費 997,000 円、補助金 498,000 円

C-29 岩見沢バーガー研究会 佐藤 直輝
総事業費 1,200,000 円、補助金 600,000 円

C-30 であえーる岩見沢を拠点とした芸術文化事業及び情報発信事業
特定非営利活動法人はまなす&ミュージックプロダクション
総事業費 8,160,000 円、補助金 3,300,000 円

C-31 岩見沢バンドサークル事業 (株)北海道教育楽器
総事業費 1,550,000 円、補助金 775,000 円

○平成23年度運営費決算案について以下のとおり。

収入の部

分担金	1,200,000 円	岩見沢商工会議所、振興いわみざわ
負担金	1,200,000 円	岩見沢市
雑収入	219 円	預金利息

支出の部

会議等開催費	128,550 円	駐車券、セミナー会場費
旅費交通費	229,140 円	出席会議3回
委託費	355,000 円	ポルタ検討会専門家への謝金
事務費	299,679 円	事務消耗品
印刷広報費	499,850 円	事業募集チラシ
賃借料	888,000 円	事務所賃貸料
合計	2,400,219 円	

○平成24年度運営費予算について以下のとおり。

収入の部

分担金	1,200,000 円	岩見沢商工会議所、振興いわみざわ
負担金	1,200,000 円	岩見沢市
雑収入	1,000 円	預金利息

支出の部

会議等開催費	150,000 円	会議賄い費用、中心市街地活性化協議会の最終年度の為、事業等をまとめたものを市民向けにセミナー
旅費交通費	200,000 円	関係機関との連絡会議
委託費	300,000 円	次の計画に向け岩見沢市と共同して実施
事務費	251,000 円	事務消耗品
印刷広報費	600,000 円	セミナー開催、次年度に向けた事業募集 2 回実施
賃借料	900,000 円	事務所賃貸料
合計	2,401,000 円	

○岩見沢市中心市街地活性化補助金要綱の変更について

4月1日付で変更

第2条(4) 空き店舗対策事業を削除

○外部専門家委員会設立準備会 会議報告について

であえーるの再生が緊急の課題となり、それを検討するため平成22年11月に市が、中心市街地商業業務集積地区活性化ビジョンを策定。その際に専門家から活性化ビジョンは単に計画を作るのではなく、その進捗状況を外部から評価する外部専門家委員会を立ち上げるべきという提言書が出された。

また中心市街地地活性化協議会からもエリアマネージャーに関する評価について、外部の目でチェックをした方が良いという意見が提出されたことから、平成23年度は外部専門家委員会を立ち上げる為の準備として、5回の会議を開催し報告書を作成。内容は以下のとおり。

・外部専門家委員会の役割は

- ①中心市街地の中にある商業業務集積地区における活性化事業の推進に際し、展開プログラムに基づく事業進捗の検証と課題解決の方向性に対し適切な助言を行う
- ②エリアマネジメントチームによる事業に対する助言と評価

・評価の方法

定量的指標は、基本計画に居住者数や歩行者通行量、従業者数という3つの目標を掲げており、これに対して展開プログラムで行う事業がどれだけ寄与したかや空き店舗数なども含めて事業の効果を把握

定性的指標は、1年間実施後に市民や商業者等にアンケートを行い事業を行った結果中心市街地ににぎわいが図られたかをアンケートで把握

・外部専門家委員の構成

専門家のみで構成。都市計画の専門家、商業の専門家、地域連携の専門家、福祉の専門家、交通の専門家の5名体制で検討